

自然情報は「BOOK 愛ランド礼文」にあります。

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

レブンクル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP http://www.h3.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm」
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

ユキホオジロ来たよ

久しぶりに島を巡ると、海岸のカモメの数が減っていました。ウミネコ、カモメ、セグロカモメ、ミツユビカモメの大きな群の姿が消え、シロカモメ、ワシカモメ、オオセグロカモメがほとんどになりました。ウミウの数も減り、ヒメウが多くなりました。ウミアイサはまだ大きな群で金田岬の沖に帯になって見られました。シノリガモも増えて、沖を注意してみると、ミミカツブリ、アビやウミスズメの仲間が見られます。オオワシやオジロワシの目撃情報をいただきましたが11月23日、海馬島には1羽のオオワシの成鳥が見られました。小鳥ではベニヒワ、シマエナガ、ミヤマホオジロ、ユキホオジロなど、この時期ならではの小鳥達が見かけられます。



ユキホオジロ 2000.11.14. 金田岬

北海道大学総合博物館第4回公開シンポジウム

北東ユーラシアの生物多様性と保全

日露双方における生物多様性や絶滅危惧生物の研究の現状・保全対策の問題点や課題について、両国の研究者から報告があります。

日時：2001年12月6日（木曜）、午後1時～5時

場所：北海道大学学術交流会館第3会議室

たくさんの先生方の発表の中でレブンアツモリソウに関する発表もあります。

「絶滅危惧植物の結実率と保護対策」

1410～1440 佐藤友香・高橋英樹



2001.11.19. オリオン座と獅子座流星群 礼文島 しし座流星群 ・11月19日午前2～4時

アッシャー博士の予想は見事に的中し、日本各地で最高の流星雨が見られました。礼文島でも3時過ぎには満天の星空の中、東西南北どこを見ても流れ星、流れ星でした。大自然のドラマに大感激した方は、島内でもたくさんいたようです。これほどの流星雨は私にとっては一生に一度だと思っています。残念ながら見られなかった方に、12月14日は双子座流星群です。晴れば、1時間に60個の予想があります。日没後すぐに東の空に注目してみましょう。

やませの森から

・2001年秋植樹・10月6日。参加31名

朝は天気心配でしたが、日中は良い天気恵まれて無事何事もなく植樹を終えました。植樹には緑が丘森林公園内の歩道沿いの幼木を使い、百個の紙ネツコンに鉢植えをして植えました。1m近くある大きな木も数本、直接土に植えました。意外なことには今頃やませの森にミヤマスミレがたくさん咲いている場所があったことです。夏の草刈りのせいでしょうか？森からの下りでは子供達がボリボリをたくさん採ってきました。

礼文島自然クラブ関連HP

http://www.infoforestry.go.jp/mori_nps/topic2001_11/kouhou11_7.htm

第2回年末トド一斉カウント調査のご案内

礼文島の皆様へ、北大院の石名坂さんから協力依頼が来ています。参加者を大募集いたします。

日時：2001年12月29日 午後1時～1時30分

（悪天候の場合は30日の同時刻に延期）

上泊港のオットセイ

杉田美野里

礼文島上泊の築港の中に1頭のオットセイが姿を見せるようになってから1ヶ月近くになります。冬期になるとオットセイは沖にはたくさん来ているようで、網をやぶったりするので漁師さんたちには招かざる客でもあります。水に浮かんだまま眠ることができるので、陸に近づくことはまれです。ニシンやタラの大漁が続く上泊港は活気に溢れ、時々おぼれの魚にありつけるためか、すっかりくつろいだ様子。気持ちよさそうに背中を見せたり、お腹を見せたり、ひれ(前足)を水面に出してゆらゆらさせたりしています。

「もしかしたら以前に助けたオットセイかもしれない」という話を聞きました。昨年(2000)の5月30日のこと、社会の授業で上泊小学校の3、4年生が築港にやってきました。港の中にオットセイを発見、よく見ると緑色の網が巻きついていて血も出ていました。「なんとか助けたい」と思いましたが、子供たちにはどうする事もできません。漁師さんたちは忙しそうに作業中でしたが、勇気を出して頼んでみました。二田さんと野坂さんがさっそく舟を出して、オットセイを捕獲、からまっていた網をはずして逃がしてくれました。興奮したオットセイがあばれるので網を取り除いてやる作業は大変だったようです。子供たちから漁師さんへのお礼の手紙や、絵日記を見せていただきましたが、その中には助けることができた喜びが溢れていました。担任の上野幸子先生は「地域の人から大きな力をもらって勇気付けられた」と感想を書かれていました。

今、上泊港にいるオットセイと同じ個体かどうかは知る由もありませんが、人を怖がらず築港に遊ぶ姿を見ると1年半前の出来事と無関係ではないような気がしてきます。ニシンやホッケを餌とするオットセイですから、漁期が終れば自然に沖に帰って行くことと思います。餌をやったりして長く触れ合っていたくなるのが人情ですが、オットセイの野生の暮らしを脅かすことがないようにしたいものです。自分で魚を取り、厳寒の海原を泳いでこそ「オットセイ」です。そして今回みたい



2000.5.30.上泊港 助けたオットセイ 写：上野幸子



2001.11.16. オットセイ 東上泊港

10月の自然日誌

- 1日晴れのち曇10.9度。アオジが入ってきた-小坂。
中秋の名月は雲の合間にちょこっと見えた。
- 2日雨11.5度。利礼航路全便欠航。
- 4日晴れ10.9度。沖に船が多い。庭でイタチを見た。
- 5日晴れのち曇り8.7度。ゴロタ浜海岸清掃(38名)
メボソムシクイ 保護-尺忍・齋藤-落鳥。
- 6日晴れ13.1度。やませの森2001年秋植樹(31名)
咲いてた花：ツルリンドウ、ミヤマスミレ。
サンマ大群、船に飛び上がってくるほど-小坂。
- 7日晴れ7.7度。沖をサンマの群が跳ねるの見た。
- 8日晴れ8.7度。ヤナギタケ、ユキノシタ 採れた。
久種湖(チュウヒ、ミヤマカケス、キジバト、
ピンズイ、オオヒシクイ、マガン、コガモ)
- 9日晴れ12.1度。風強。庭のキンバイソウ咲いた。
- 10日晴れ9.8度。須古頓の先に漁り火20以上)。
- 13日雨一時晴れ12.1度。ウソ雄保護-入舟中島。
- 14日雨9.6度。ベンサシの花園地区ロープ撤収。
- 15日晴れ9.1度。庭-ウソが来た。
- 18日晴れ6.2度。利尻クッキリ雪積。漁り火多数。
香深ミツユビカモメ 58。ヤマシギ保護-尺忍渡会
- 19日晴れ、6.4~10.1度。香深井ミヤマカケス。
久種湖ヒドリガモ、キンクロハジロ、キジバト。
船泊湾セグロ、ウミネコ、ミツユビ多数。
金田岬ウミアイサ大群、帯になっている。
- 25日、礼文島初雪。フェリー午後欠航。
鉄府ケアシノスリ、オジロワシ 見た-片川。
- 26日晴れ10.1度。洋上(ミツユビカモメ、ハシボソ
ミズナギドリ、トウゾクカモメ)。
- 27日晴れ雨のち快晴。2.7度。久種湖ホシハジロ、
マガモ、コハクチョウ、カワアイサ。
金田岬ミツユビカモメ多数飛翔、ウミアイサ500、
ミミカイツブリ1、ウミスズメ 30羽。
幌泊ミツユビカモメ200、セグロカモメ、ウミネコ
礼文林道ミヤマカケス、ミヤマホオジロ。
宇遠内シマエナガ、ベニヒワ、ヒラタケ。
- 29日晴れ5.9度。1015hpl.ミツユビカモメ400-香深
30日晴れ9.9度。1018hpl.利尻見えた。満月。